

2001年度前期におけるテーマ別科目

「北陸史からアジア史へ」の全面改訂

－「学生による授業評価」に基づく授業改訂の一例－

文学部 古 畑 徹

On an Overall Revision of "From Hokuriku's History to Asian History" in 2001 1st semester
FURUHATA Toru (Faculty of Letters)

1. はじめに

報告者は、1994年度の新カリキュラム実施以降、教養的科目のテーマ別科目・社会の授業科目として、「北陸史からアジア史へ」を提供してきた。この授業は、報告者が1990年に金沢大学教養部に赴任してからの担当授業「歴史学」で採りあげたトピックの中から、北陸の各地域とアジア諸地域との関係を明瞭に示すものを集め、歴史的な問題関心ばかりでなく、学生自身が居住する北陸に対する正確な認識や地域への問題関心・地域と世界との連動性への視点などをも学生に植え付けさせようとして構想したものである。

その後、研究の進展や報告者の認識の拡大などに合わせて、授業内容や授業方法を毎学期少しずつ改訂してきた。しかし、1994年度と比較した場合、受講する学生の状況に変化があり、次第に単純な講義形式では十分な学習効果が上がらなくなっているように感じられ、また授業内容についても、いくつかのトピックは改訂によって授業内容が肥大化して時間内では話しきれない分量になり、またいくつかのトピックは別のトピックへ差し替えた方が学生のニーズに合うのではないか、と思われてきた。そこで、1999年度後期に行った「北陸史からアジア史へ」の授業で「学生による授業評価」を実施し、授業の問題点を分析し、それに基づいて2001年度の授業を全面改訂した。

本稿では、1999年度後期の「学生による授業評価」の

結果と分析から、それに基づく授業内容・授業方法の見直し、改訂した授業の実施状況、実施後の2001年度前期の「学生による授業評価」の結果と分析までを報告し、「学生による授業評価」が実際の授業改訂にどれだけ有効に機能したかの一例を示したいと思う。

2. 1999年度後期までの授業実施経過

1999年度後期までの「北陸史からアジア史」の授業の実施経過について、実施学期・コマ数・授業時限・学生数などを、一覧表的に示すと、以下のようになる。なお、学生数のデータは、受講登録学生数のデータがほとんど手元にないため、第2講目（第1講目の場合もある）に採っているアンケートの回答者数を採用したが、1994年度前期だけはこのアンケートを取らなかったために各時限の学生数は不明なので、代わりに試験を受けた学生の合計数を提示した。

1994年度前期	4コマ	月曜1限／月曜2限／火曜3限／金曜4限	合計 1187名
1995年度前期	3コマ	月曜1限 303名／火曜3限 314名／金曜4限 330名	
1996年度前期	3コマ	月曜1限 320名／火曜3限 278名／金曜4限 299名	
1997年度前期	3コマ	火曜3限 219名／金曜3限 219名／金曜4限 248名	
1998年度前期	1コマ	金曜3限	263名

1998 年度後期 1 コマ 金曜 3 限 290 名

1999 年度後期 1 コマ 金曜 3 限 337 名

上記のような受講人数で分かるように、教室は総合教育棟で最も大きい A1・B1・C1 を使用し、全学生対象で、適正人数は 250 名である。しかし、ほとんど毎回のよう
に定員を超える受講希望学生が殺到し、多い場合には適正人数の倍を超える場合があり、第 1 講目のガイダンスでは、ガイダンスを行う前に受講者調整をしなければならない。調整方法は抽選で、全受講希望者に授業開始 5 分以内に履修票を書かせ、教卓上に置かれた箱の中に入れさせ、その中から私が履修票を抜き取るというものである。抜き取るのは原則的に履修不許可者で、不許可の場合に他の授業に履修票を提出しに行くことを考慮してのことである。履修不許可者は全て学籍番号と名前を読み上げ、学籍番号を黒板に書いていく。履修許可者を抜き取ったこともあったが、その場合でも読み上げたのは残った履修不許可者の方である。なお、これに加えて履修不許可者に履修票を返却したり、履修票を整理したりという作業があって、教官一人で 40 分の時間内に受講者調整作業を終了させるのは難しいので、1998 年度以降は私が指導を担当する大学院生に手伝ってもらっている。ただし、教養的科目におけるティーチング・アシスタント (TA) 予算が少ないので、教養的科目の TA に登録することができず、仕方なく私費でアルバイト代を出している。

こうして、教室収容限度の 296 名に約 1 割の学生をプラスして履修許可を与える。1 割をプラスするのは、席が無くても周囲の窓枠等に座ってメモを取りつつ聴講可能な数であり、かつその後実際には履修登録を行わない学生及び常時欠席の学生が出ることを計算に入れての数である。ただし、年度によってはほぼ全員が履修登録を行うこともあるため、その場合には試験時に教室が 2 室以上になり、応援監督を他の教官もしくは大学院生に依頼しなければならない。

講義は 1 回 1 講の読み切り形式で、毎回 1 つのトピックを採りあげて、それをめぐって講義を行う。講義内容は、毎年少しずつ変更しているが、本論各回のテーマ及びテーマ順は 1994 年度から 1999 年度まで変更はない。1999 年度後期の各回テーマを記すと、以下のとおりであ

る。

- | | |
|--------|---------------------|
| 第 1 講 | ガイダンス |
| 第 2 講 | 序論 私たちのアジア認識 |
| 第 3 講 | 古代日本海における交流 |
| 第 4 講 | 渤海国と北陸 |
| 第 5 講 | 珠洲焼とその流通 |
| 第 6 講 | 金如鉄 (脇田直賢) の連行 |
| 第 7 講 | 『韃靼漂流記』の時代 |
| 第 8 講 | 昆布の道 |
| 第 9 講 | 千ナマコと日本人 |
| 第 10 講 | 尹奉吉 (ユン・ボンギル) と軍都金沢 |
| 第 11 講 | 731 部隊と金沢 |
| 第 12 講 | 地下軍用施設の建設 |

1 回の講義は全て 3~4 章構成で、「はじめに」で問題を身近なところから設定し、それをさまざまな角度から読み解いて、北陸と東アジア諸地域との意外な関係を引き彫りにする。大教室という事情もあって、原則的に教官が一方向的に話をする形式だが、できるだけ視覚的に理解できるようにという配慮から、講義内容に関係する「もの」を持ち込み、実物投影機を使用してテレビ画面にそれを映し出すようにしている。

授業では B4 版プリントを配布し、左半面がレジュメ、右半面が資料で、資料が多い場合には裏面、さらには 2 枚目に及ぶ。レジュメの最後には、学生が授業を契機として問題を考察し深化・発展できるように、1・2 行程度の「問題提起」を載せている。プリントの配布方法は、当初は授業開始後に座席前方の学生に一定の束を渡して、自分の分を採って後ろに送らせるという形を採っていたが、時間のロスが大きかったので、1996 年度からは休み時間中に教室に持っていき、入口近くの台上に載せておいて、入室した学生が自分で持っていく形に変更した。この方式は、1996 年度前期総合科目「古アジア人の大移動」(コーディネータ：東浩理学部助教授) に参加した折に、塚脇真二工学部助教授が行っていたのを見て、導入したものである。

試験は定期試験期間に実施するが、最終講の最後に試験問題を発表し、2 週間後の定期試験 2 週目に「全て持ち込み可」の形で試験を実施する。事前に問題を発表するのは、試験時間内に書き写せる分量で下書きを用意さ

せるため、実質上はレポートと同じである。試験問題発表時には、答案（の下書き）作成に当たっての注意点をプリント化して配布し、同時に口頭でポイントを説明する。

試験問題は基本的に同じで、「講義で取りあげた下記の三つのテーマの中から一つを選び、①講義内容を簡単に要約し、ついで②自分で関連する問題を設定して考察論述せよ（プリントの問題提起に答えてもよい）。さらに③その回の講義について批評せよ。」の3題である。①は授業の理解度を、②は学生に問題設定・考察をさせた上で問題設定能力と解決能力を、③は授業への能動的姿勢を、それぞれ見ている。当然、文章力も採点の対象となっており、また「歴史学」という範疇に入る授業のため、②には事実関係の正確さが要求されている。要約を要求するテーマは学期ごとに異なるが、「歴史学」当時は学生にどのテーマでも自由に選ばせていた。しかし、講義に1度出れば単位取得が可能であるかのような印象を学生に与えかねず、学生自体が次第に易きに流れる傾向も見えてきたので、教官の指定型に変更し、3テーマに絞ることで全ての授業を聴講しておかなければ対応がしにくい形に変更した。

さらに、試験では②で自由に考察論述させ、③で批評をさせる関係上、講義への疑問・質問・批判・改善提案などが出やすく、また講義終了後の試験のため、学生が教官の講義意図を誤解していても、それを修正する時間がない。そこで、1992年度から次学期開始時点までに「試験講評」を作成し、テーマ選択の状況、①②③の回答傾向・採点方針・主要誤解の訂正、不可基準の解説、誤字の指摘、学生の意見（注目すべきもの、問題のあるものをピックアップ）とコメント、批判・疑問と反論・言い訳・訂正、などを掲載している。当初はB5用紙8枚程度に収まるように作成していたが、次第に増加し、近5年ほどはA4用紙に2500字以上入れた上で12頁を超えるのが普通になっている。受講学生への配布は、学務係に発行と配布場所の掲示をした上で、研究室前に置いて自由に持っていかなせる方式を採っている。そのため全受講学生が持っていくわけではないが、毎回約半数は持っていており、これを契機にして質問や自己の答案への詳しい講評を求めに来る学生も少なくない。

以上が、1999年度後期までの授業の概要である。

3. 1999年度後期の授業における工夫

1999年度における授業の工夫については、2000年3月23日の第2回金沢大学教養教育全学研究会で発表し、その発表の全内容が『第2回金沢大学教養教育全学研究会報告書』に掲載されている。そこで、ここでは授業づくりの問題意識とそれに基づく改善点を簡単に述べることにする。

授業前に授業づくりの問題意識として持っていたものを要約すると、4点になる。まず、不可学生の増加が顕著に増加しているというのが、その背景にある。その主要原因を分析すると、授業要約ができなくなってきていることが指摘できるので、その能力を授業の途中段階でチェックして、向上させる方法が必要ではないか、というのが第1の問題意識である。また、1998年度のデータをチェックした結果、出席と成績には相関が認められるので、出席率を上げる工夫がいるのではないか、というのが第2の問題意識である。さらに、大学審などの諸答申で指摘され、学生からも要望が出ているように、1回の試験のみでの成績付けという結果型には問題があり、プロセスを評価に組み込む必要性があるのではないか、というのが第3の問題意識である。そして、この授業はすでに多くの修正を施して完成形になっているので、これ以上に新しい内容を入れるには全面刷新が必要であり、次回以降の刷新のための客観的な授業評価資料を今学期の授業で入手する必要がある、というのが第4の問題意識である。

この4つの問題意識から、新しい試みとして次の5点を実施することにした。

- ①授業の中間期に授業要約の小レポートを課し、それを添削して、試験前までに返却する。
- ②公開授業を実施して、他の教官に授業を見てもらい、他の教官の目で講評してもらうことで、授業方法・授業内容をチェックする。
- ③試験時に、「学生による授業評価アンケート」を実施し、学生の状況・要望を把握する。
- ④成績評価法を、原則期末試験のみから、小レポート（10点）＋抜き打ちの出席確認（2点）＋期末試験

(90 点) の方式に変更する。合格は 60 点以上である。

⑤成績の統計を作成し、学生の状況を正確に把握するとともに、①～④の効果のほどを確認する。

③は次章で述べるので、それ以外について実際の実施状況を述べると、①は第 2 講で課題を出し、第 3 講・第 4 講のいずれかの授業を要約させ、第 6 講で提出させた。全てのレポートは採点時に添削し、特にレポートの書き方に細かく指導を加えて返却したが、予定の第 10 講・第 11 講では返却できず、第 12 講で大半を返却し、一部はそれ以降に返却することになってしまった。この指導の効果は、⑤で小レポートの成績が悪い学生の期末試験での要約成績での合格点獲得率という形で調べた結果、6 割強の学生が指導を受けてよくなったと判断でき、ある程度の効果のほどが確認された。また、④では小レポートが未提出でも合格できるようにしたので、未提出にもかかわらず試験を受けた学生がいたが、その不可率は 4 割を超え、提出者中の不可率が 1 割程度だったのと大きな差異が出た。①と④には出席ぐせを付ける狙いがあったが、抜き打ちの出席確認を行った第 7 講の出席率は 75.1%で、前学期の 46.8%を大きく上回り、明確に効果が出た。②は第 8 講で実施し、20 名近くの教職員の参観者を得、その後の研究会でも 10 名近くの方が出席され、意見をいただいた。その中では、努力は認められるものの学生との双方向性に弱さがある点、レジュメが読みにくく、それは B4 というレジュメの大きさや資料の掲載の仕方に関係することなどが指摘された。

4. 1999 年度後期の学生による授業評価

学生による授業評価は、試験時に実施した。授業評価の項目は以下のとおりである。

予備設問 学部・学科(課程)・学年を教えてください。

問 1 ガイダンスも入れて全 12 回の講義のうち、何回出席しましたか。

問 2 特に印象に残った講義があればその題目を書いてください。(いくつでも可)

問 3 次の点についてあなたの印象・評価を、選択肢に○をつけて示してください。

ア) この授業は面白くて退屈しなかったですか？

(1. はい 2. まあまあ 3. 普通 4. そうとも
いえない 5. いいえ)

イ) 授業内容は分かりましたか？

(1. はい 2. まあまあ 3. 普通 4. そうとも
いえない 5. いいえ)

ウ) 授業は自分なりに考えるきっかけになりましたか？

(1. はい 2. まあまあ 3. 普通 4. そうとも
いえない 5. いいえ)

エ) 授業の進め方はよかったですか？

(1. はい 2. まあまあ 3. 普通 4. そうとも
いえない 5. いいえ)

オ) レジュメはわかりやすかったですか？

(1. はい 2. まあまあ 3. 普通 4. そうとも
いえない 5. いいえ)

カ) 教官の声はよく聞こえましたか？

(1. はい 2. まあまあ 3. 普通 4. そうとも
いえない 5. いいえ)

キ) 板書はよかったですか？

(1. はい 2. まあまあ 3. 普通 4. そうとも
いえない 5. いいえ)

ク) あなたから見て、学生の授業態度はよかったですか？

(1. はい 2. まあまあ 3. 普通 4. そうとも
いえない 5. いいえ)

ケ) この授業を総合的に評価するとどうなりますか？

(1. たいへんよい 2. まあまあ 3. 普通 4.
さほどよくない 5. 悪い)

問 5 以上以外に授業で何か気づいたことがあったら書いてください。

この集計結果は、後掲の〈資料 1〉のとおりである。

問 1 は出席率のデータだが、平均 10.5 回は非常に高いといえ、学生を出席させようとした努力の結果は確認された。問 2 は、授業内容の刷新の上で何を変更し、また何を削るかの基礎資料となるもので、食べ物の話や金沢大学に関係ある話などの身近な問題をテーマとするも

のにより強い興味を示すことが確認できた。問 3 では、1 が一番プラスの評価、5 が一番マイナスの評価という形態をとったので、指数が 1 に近いものほど評価が高いという結果になる。その結果、1 点台の高い評価を得たのは、高い順に、教官の声、考える契機、総合評価、授業理解、授業進行の 5 つ、2 点台のややよい評価を得たのは、授業の面白さ、レジュメの 2 つ、3 点台のやや悪い評価を得たのは、板書、学生の授業態度の 2 つ、であった。

5. 2001 年度前期の授業

こうした 1999 年度後期の結果を受けて、2001 年度の授業（金曜 3 限、B1 講義室）は、授業内容・授業方法を全て改訂した、完全リニューアル版として行った。

まず、授業テーマの 4 分の 1 を入れ替え、従来からのテーマも全て授業構成を見直し、論理性を明確化するとともに、提供する話題を厳選してスリム化した。2001 年度前期の各回のテーマを記すと以下のとおりである。テーマ自体を入れ替えたものには*印を付してある。

- 第 1 講 ガイダンス
- 第 2 講 序論 環日本海の基礎知識*
- 第 3 講 古代日本海における交流
- 第 4 講 渤海国と北陸
- 第 5 講 珠洲焼とその流通
- 第 6 講 金如鉄（脇田直賢）の連行
- 第 7 講 『韃靼漂流記』の時代
- 第 8 講 昆布の道
- 第 9 講 干ナマコと日本人
- 第 10 講 第 9 師団と日中戦争*
- 第 11 講 731 部隊と金沢
- 第 12 講 中国人・朝鮮人強制連行と石川*

次に授業方法の改善だが、まず第 1 にガイダンスを強化した。とはいえ、ガイダンス時間は限られており、前半 40 分は事実上受講者調整に当てられてしまうので、多くを話すことはできない。そこで、従来のガイダンスプリントを本格的な授業配布用シラバス(第 2 シラバス)に作り替え、授業日程・参考文献・成績評価方法などのデータを与えるだけでなく、授業の進め方、授業目的の解説などを詳細に文章化して渡すことにした。

また、1999 年度の授業を、授業評価アンケートや公開授業・成績統計などから総括し、次の 4 つの問題点を抽出した。

- ①小レポートのやりとりはあるが、教官から学生への一方通行的な講義としての側面が強く、学生との双方向性が弱い。
- ②レジュメがぎっしり詰まっていて読みにくく、余白が少なくて書き込みがしにくい。
- ③学生の知識が一定ではないので、理解度に差がある。にもかかわらず、予習の余地が無く、2 単位の授業としては学生に課す学習時間が少ない。
- ④教官が教壇で見ているよりも学生から見た他の学生の授業態度は悪い。

そしてこれへの対策として、次の 4 点を実施した。各ローマ数字は問題点の丸数字に対応している。

I 質問票を作成して事前に学生に配布し、質問があれば学生はそれに記入して授業終了後に教官に渡し、教官は回答を後日プリント化して返す。質問票には提出 1 回に当たり、内容によって 0～2 点を与える。

II レジュメを B4 版から A4 版に改訂し、できるだけ余白を作る。また、レジュメのポイントに太字を使う。

III 予習用プリントを作成し、予習をしてきてもらって学生の事前知識を一定に揃える。また、小レポートの比重を上げて（点数的には 10 点だが、優良は小レポートの提出が前提になることとした）、早い段階でこの授業について自主学習が必要であるという認識を高める。

IV 実物投影機の評判がよいので、テレビを見ながら説明を受ける時間を増やし、関心をより授業に向けさせる。

なお、目的の解説では、この授業が知識伝授ではなくその主眼が学生の能力開発にあることを明示したが、小レポートのやりとり、質問票のやりとり、試験と講評のやりとりがそうした能力開発の訓練的性格を持っているという点については、口頭の説明にとどめた。理由は、プリントで文章表現しにくかったからと、全て文章化したのでは今度は重要なことを耳から聞いて理解するとい

う面の訓練にならないから、の2点である。口頭説明の中に重要なことがあるという点については、授業配布用シラバスの中の「授業の進め方」で講義の重要ポイントのうちの一つはレジュメには書かず、口頭のみで行う旨を明記しておいた。これも学生訓練の意図があることを口頭で説明したが、ともかく口頭説明の中に重要な点があるのでこれをメモするようにと、ガイダンスでは徹底的にレクチャーしたのである。

6. 2001年度前期の学生による授業評価

以上の改善策が妥当であったか否か、あるいはさらなる問題点はないか、ということを探し出すために、この学期でも期末試験時に学生による授業評価を実施した。

アンケート項目は、前回に2点だけ修正を加えた。一つは問1で、これを選択肢にし、以下のようにした。

問1 ガイダンスも入れて前12回の講義のうちどの程度出席しましたか。該当するものに○をつけてください。

- (1. 全部出席 2. 1～2回欠席 3. 3～4回欠席
4. 5～6回欠席 5. 半分以上欠席)

もう一つは、学習時間を尋ねる問いを新設し、これを問3とし、従来問3を問4とした。設問は下記のとおりである。

問3 この講義のためにどれくらい自分で勉強しましたか。それは予習・復習・小レポート作成・試験勉強を含めて1週間平均にして何時間くらいになりますか。該当するものに○をつけてください。

- (1. 3時間以上 2. 3～2時間 3. 2～1時間 4. 1時間未満 5. 全くしなかった)

こうして得たアンケート結果は、後掲の〈資料2〉である。

出席率は、前回とは回答方式が異なるので単純比較はできないが、数値だけを見れば11.0回と、前回よりもようになった。学習時間は、毎週1.4時間平均で、まだ2単

位授業としては不十分ではあるが、通常の講義よりはかなりよいといえる。ちなみに、2001年度後期に教養教育機構で実施した「学生による授業アンケート」における、「テーマ別・一般科目(社会)」の平均学習時間が毎週30分未満で、平均1時間を超える授業が26科目中2科目しかなかったことを考えると、学習量という点でかなり単位の実質化が図られた授業であったことは確かである。前回の評価が高いとはいえなかった、授業の進め方、レジュメ、学生の授業態度については、全て前回よりも上がった。その他の項目も大半は評価があがっており、今回の授業の全面改訂はかなり成功したといえる。ただ、板書だけはよくなったといっても依然3点台で、かなり改善の余地が残った。

このように結果は大変良好なのだが、それには、単に改善されたからだけではないもう一つの理由がある。それは、途中で脱落した学生が多かったことである。受講生に2年生が多かったことが一つの理由だが、私としても、成績評価を厳しくすることで、追いついていけなければ、あるいは授業が自分と合わなければ、途中で履修を放棄させる仕掛けにしてあった。途中で受講をやめた学生の率を離脱率として計算すると29.8%になり、前回は17.0%だったので、かなりの違いが出ている。だから、このデータは最後までつき合ってくれた学生のものであって、評価が高いのはある意味当然ともいえる。

ただし、放棄にも責任がある(特に抽選で履修許可となっている以上、抽選で不許可とされた学生に対する責任は重い)ということを徹底させるために、従来どおり、放棄の申請をしてもらい、申請しない者は不可とした。にもかかわらず無断で放棄した者が多く、それ故に不可が増えた。不可率は受講者総数の36.9%(全体不可率)だが、成績結果の不良による不可はわずか8.0%(実質不可率)である。前回の全体不可率が28.1%、実質不可率が18.7%だから、大きな違いである。これは学生のモラルの問題であると同時に、授業を行う側の仕掛けの問題であり、教官個人の問題というよりは、大学全体の教育の仕組みとして、放棄のもつペナルティーがほとんどないことが問題なのである。放棄を何とかしなければ、学生に自主的な学習を求め、成績評価の厳密性を確保し、単位の実質化をはかることはできないであろう。

7. おわりに

以上、「北陸史からアジア史へ」の2001年度前期における授業内容・授業方法の全面改訂に、学生による授業評価がどのように機能したかを明らかにしてきた。この成果は、筆者がその導入に関与した2001年度後期から実施の「学生による授業アンケート（教養的科目）」にも

反映されている。「学生による授業アンケート（教養的科目）」が、個々の授業科目の改善に機能的に利用されることを願ってやまない。

筆者も、次回（2002年度後期）は「学生による授業アンケート（教養的科目）」を利用する予定で、その結果から授業改善に進んだ場合には、また報告をしてみたいと思う。

<資料1>

1999年度後期「北陸史からアジア史へ」授業評価アンケート集計結果

受講者総数 342（うち1年生319） 受験者総数 284（うち1年生268）

回答者総数 260（うち1年生245）

回収率 91.5%（1年生回収率91.4%）＝回答者総数÷受験者総数

問1 ガイダンスも入れて全12回の講義のうち何回出席しましたか。

1回の平均出席率 ①67.7%（アンケート未提出者を2回出席として計算） ③69.1%（1年生の①）

②87.5%（アンケート回答者のみの出席率） ④88.3%（1年生の②）

アンケート回答者の平均出席回数 10.5回（1年生のみ10.6回）

学部ごとの平均出席回数 文 10.6回 法 10.3回 経済10.4回 教育10.3回
理 11.0回 医医7.9回 医保11.0回 工 11.0回

問2 特に印象に残った講義があればその題目を書いてください。（いくつでも可）

問2の学部別集計（テストで出題した授業は各学部回答者総数中の割合も示した）

学 部 別	文	法	経済	教育	理	医医	医保	工	合 計	%
ガイダンス	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.4
序アジア認識	2	1	0	1	0	0	2	1	7	2.7
古代日本海の	4	8	2	3	0	2	3	2	24	9.2
渤海国と北陸	5	3	4	4	0	2	5	1	24	9.2
珠洲焼と流通	6	2	0	0	0	0	2	1	11	4.2
金如鉄の連行	3	2	4	3	2	2	3	2	21	8.1
韃靼漂流記の	4	2	1	2	1	0	2	0	12	4.6
昆布の道	4	9	12	7	4	1	22	3	62	23.8
千ナマコと日	11	11	9	14	4	1	16	8	74	28.5
尹奉吉と軍都	4	1	6	2	1	0	3	3	20	7.7
731部隊と	13	18	21	20	7	7	44	8	139	53.1
地下軍用施設	2	5	4	5	0	2	5	1	24	9.2

問3 次の点についてあなたの印象・評価を、選択肢にまるをつけて示してください。

*各設問の「指数」は、(番号×番号の人数の総和)÷その設問の回答者総人数、である。平均は3.00で、それより小さければプラス評価、少なくともマイナス評価。

ア) この授業は面白くて退屈しなかったですか？

・指数2.04 文1.96 法1.97 経済1.95 教育2.00 理1.69 医医2.19 医保2.18 工2.00

ア)の学部別集計(カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学部別	文	法	経済	教育	理	医医	医保	工	合計
1. はい	12(36.4)	10(26.3)	15(36.6)	12(33.3)	4(30.8)	4(25.0)	18(26.9)	5(31.3)	80(30.8)
2. まあまあ	12(36.4)	20(52.6)	16(39.0)	13(36.1)	9(69.2)	7(43.8)	27(40.3)	7(43.8)	111(42.7)
3. 普通	7(21.2)	7(18.4)	5(12.2)	10(27.8)	0	3(18.8)	16(23.9)	3(18.8)	51(19.6)
4. そうでもない	2(6.1)	1(2.6)	4(9.8)	1(2.8)	0	2(12.5)	4(6.0)	1(6.3)	15(5.8)
5. いいえ	0	0	0	0	0	0	2(3.0)	0	2(0.8)
無回答	0	0	1(2.4)	0	0	0	0	0	1(0.4)

イ) 授業内容はわかりましたか？

・指数1.88 文1.79 法1.79 経済1.60 教育2.14 理1.92 医医1.68 医保2.04 工1.81

イ)の学部別集計(カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学部別	文	法	経済	教育	理	医医	医保	工	合計
1. はい	14(42.4)	19(50.0)	22(53.7)	8(22.2)	3(23.1)	6(37.5)	21(31.3)	4(25.0)	97(37.3)
2. まあまあ	14(42.4)	12(31.6)	13(31.7)	17(47.2)	8(61.5)	9(56.3)	27(40.3)	11(68.8)	111(42.7)
3. 普通	3(6.1)	3(7.9)	4(9.8)	9(25.0)	2(15.4)	1(6.3)	14(20.9)	1(6.3)	37(14.2)
4. そうでもない	2(4.1)	4(10.5)	1(2.4)	2(5.6)	0	0	5(7.5)	0	14(5.4)
5. いいえ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	1(2.4)	0	0	0	0	0	1(0.4)

ウ) 授業は自分なりに考えるきっかけになりましたか？

・指数1.70 文1.63 法1.66 経済1.68 教育1.78 理1.92 医医1.69 医保1.70 工1.81

ウ)の学部別集計(カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学部別	文	法	経済	教育	理	医医	医保	工	合計
1. はい	19(57.6)	22(57.9)	21(51.2)	18(50.0)	6(46.2)	6(37.5)	32(47.8)	6(37.5)	130(50.0)
2. まあまあ	9(27.3)	7(18.4)	15(36.6)	10(27.7)	3(23.1)	9(56.3)	24(35.8)	8(50.0)	85(32.7)
3. 普通	3(6.1)	9(23.7)	4(9.8)	6(16.6)	3(23.1)	1(6.3)	10(14.9)	1(6.3)	37(14.2)
4. そうでもない	2(4.1)	0	0	2(5.6)	1(7.7)	0	1(1.5)	1(6.3)	7(2.7)
5. いいえ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	1(2.4)	0	0	0	0	0	1(0.4)

エ) 授業の進め方はよかったですか？

・指数 1. 9 9 文2.06 法2.00 経済1.94 教育1.97 理1.77 医医1.94 医保1.96 工2.34

エ) の学部別集計 (カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学 部 別	文	法	経済	教育	理	医医	医保	工	合 計
1. はい	9(27.3)	15(39.5)	14(34.1)	13(36.1)	7(53.8)	8(50.0)	28(41.8)	2(12.5)	96(36.9)
2. まあまあ	16(48.5)	11(28.9)	17(41.5)	14(38.9)	3(23.1)	2(12.5)	19(28.4)	7(43.8)	89(34.2)
3. 普通	5(15.2)	9(23.7)	7(17.1)	6(16.6)	2(15.4)	5(31.3)	15(22.4)	6(37.5)	55(21.2)
4. そうでもない	3(9.1)	3(7.9)	2(4.9)	3(8.3)	1(7.7)	1(6.3)	5(7.5)	1(6.3)	19(7.3)
5. いいえ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無 回 答	0	0	1(2.4)	0	0	0	0	0	1(0.4)

オ) レジューメはわかりやすかったですか？

・指数 2. 1 9 文2.15 法2.05 経済2.18 教育2.25 理3.08 医医2.06 医保2.18 工2.19

オ) の学部別集計 (カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学 部 別	文	法	経済	教育	理	医医	医保	工	合 計
1. はい	11(33.3)	14(36.8)	13(31.7)	9(25.0)	2(15.4)	5(31.3)	24(35.8)	3(18.8)	81(31.2)
2. まあまあ	12(36.4)	13(34.2)	12(29.3)	15(41.7)	1(7.7)	5(31.3)	20(29.9)	7(43.8)	85(32.7)
3. 普通	4(12.2)	6(15.8)	10(24.4)	9(25.0)	5(38.5)	6(37.5)	11(16.4)	6(37.5)	57(21.9)
4. そうでもない	6(18.2)	5(13.2)	5(12.2)	3(8.3)	4(30.8)	0	11(16.4)	0	34(13.1)
5. いいえ	0	0	0	0	1(7.7)	0	1(1.5)	0	2(0.8)
無 回 答	0	0	1(2.4)	0	0	0	0	0	1(0.4)

カ) 教官の声はよく聞こえましたか？

・指数 1. 1 6 文1.27 法1.24 経済1.15 教育1.03 理1.23 医医1.38 医保1.10 工1.06

カ) の学部別集計 (カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学 部 別	文	法	経済	教育	理	医医	医保	工	合 計
1. はい	27(81.8)	33(86.8)	35(85.4)	35(97.2)	11(84.6)	12(75.0)	61(91.0)	15(93.8)	229(88.1)
2. まあまあ	4(12.2)	1(2.6)	4(9.8)	1(2.8)	1(7.7)	2(12.5)	5(7.5)	1(6.3)	19(7.3)
3. 普通	1(3.0)	4(10.5)	1(2.4)	0	1(7.7)	2(12.5)	1(1.5)	0	10(3.8)
4. そうでもない	1(3.0)	0	0	0	0	0	0	0	1(0.4)
5. いいえ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無 回 答	0	0	1(2.4)	0	0	0	0	0	1(0.4)

キ) 板書はよかったですか？

・指数 3.12 文3.06 法3.16 経済3.09 教育3.03 理2.80 医医2.64 医保3.30 工3.42

キ) の学部別集計 (カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学 部 別	文	法	経済	教育	理	医医	医保	工	合 計
1. はい	2(6.1)	1(2.6)	4(9.8)	2(4.9)	2(15.4)	1(6.3)	3(4.5)	0	15(5.8)
2. まあまあ	5(15.2)	5(13.2)	4(9.8)	6(16.6)	1(7.7)	3(18.8)	8(11.9)	2(12.5)	34(13.1)
3. 普通	14(42.4)	19(50.0)	12(29.3)	14(38.9)	4(30.8)	10(62.5)	20(29.9)	5(31.3)	98(37.7)
4. そうでもない	8(24.3)	11(28.9)	9(22.0)	9(25.0)	3(23.1)	0	21(31.3)	3(18.8)	64(24.6)
5. いいえ	1(3.0)	1(2.6)	3(7.3)	1(2.8)	0	0	5(7.5)	2(12.5)	13(5.0)
無 回 答	3(9.1)	1(2.6)	9(22.0)	4(11.1)	3(23.1)	2(12.5)	10(14.9)	4(25.0)	36(13.8)

ク) あなたから見て、学生の授業態度はよかったですか？

・指数 3.42 文3.27 法3.59 経済3.52 教育3.59 理2.82 医医3.36 医保3.43 工3.08

ク) の学部別集計 (カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学 部 別	文	法	経済	教育	理	医医	医保	工	合 計
1. はい	2(6.1)	3(7.9)	0	0	1(7.7)	0	1(7.5)	1(6.3)	8(3.1)
2. まあまあ	5(15.2)	2(5.3)	3(7.3)	4(11.1)	5(38.5)	1(6.3)	8(11.9)	2(12.5)	30(11.5)
3. 普通	8(24.2)	8(21.1)	13(31.7)	8(22.2)	1(7.7)	8(50.0)	20(29.9)	4(25.0)	70(26.9)
4. そうでもない	13(39.4)	18(47.4)	11(26.8)	17(47.2)	3(23.1)	4(25.0)	17(25.4)	5(31.3)	88(33.8)
5. いいえ	2(6.1)	6(15.8)	4(9.8)	3(8.3)	1(7.7)	1(6.3)	8(11.9)	0	25(9.6)
無 回 答	3(9.1)	1(2.6)	10(24.4)	4(11.1)	2(15.4)	2(12.5)	13(19.4)	4(25.0)	39(15.0)

ケ) この授業を総合的に評価するとどうなりますか？

・指数 1.83 文1.80 法1.92 経済1.70 教育1.84 理1.64 医医1.64 医保1.93 工1.92

ケ) の学部別集計 (カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学 部 別	文	法	経済	教育	理	医医	医保	工	合 計
1. たいへんよい	13(39.4)	13(34.2)	14(34.1)	8(22.2)	5(38.5)	5(31.3)	11(16.4)	2(12.5)	71(27.3)
2. まあまあ	12(36.4)	16(42.1)	15(36.6)	21(58.3)	5(38.5)	9(56.3)	38(56.7)	9(56.3)	125(48.1)
3. 普通	3(9.1)	6(15.8)	4(9.8)	3(8.3)	1(7.7)	0	3(4.5)	1(6.3)	21(8.1)
4. さほどよくない	2(6.1)	2(5.3)	0	0	0	0	2(3.0)	0	6(2.3)
5. 悪い	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無 回 答	3(9.1)	1(2.6)	8(19.5)	4(11.1)	2(15.4)	2(12.5)	13(19.4)	4(25.0)	37(14.2)

問4 以上以外に授業で何か気づいたことがあったら書いてください。

省略

<資料2>

2001年度前期「北陸史からアジア史へ」授業評価アンケート集計結果

受講者総数 312 (うち1年生207) 受験者総数 219 (うち1年生180)

離脱率 29.8% (1年生離脱率13.0%) = (受講者総数 - 受験者総数) ÷ 受講者総数

回答者総数 209 (うち1年生175)

回収率 95.4% (1年生回収率97.2%) = 回答者総数 ÷ 受験者総数

*集計にあたっては、薬学部生が2名しかいなかったため、理学部とひとつにして「理・薬」として集計している。

問1 ガイダンスも入れて全12回の講義のうちどの程度出席しましたか。

アンケート回答者の平均出席回数 (1を12回、2・3・4を10.5・8.5・6.5回、5を3回として計算)

11.0回 (1年生のみ11.3回)

学部ごとの平均出席回数 文 11.4回 法 11.2回 経済10.3回 教育11.0回
理・薬10.8回 医医10.7回 医保11.7回 工 11.2回

問2 特に印象に残った講義があればその題目を書いてください。(複数でも可)

問2の学部別集計 (テストで出題した授業は各学部回答者総数中の割合も示した)

学 部 別	文	法	経済	教育	理・薬	医医	医保	工	合 計	%
ガイダンス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
序論環日本海	1	0	0	1	0	0	0	0	2	1.0
古代日本海の	1	1	3	0	0	0	0	0	5	2.4
渤海国と北陸	7	5	2	1	0	0	1	2	18	8.6
珠洲焼と流通	3	1	0	3	1	0	0	0	8	3.8
金如鉄の連行	9	3	3	3	0	1	2	0	21	10.0
韃靼漂流記の	7	5	2	2	0	0	1	0	17	8.1
昆布の道	6	10	8	12	1	2	4	2	45	21.5
干ナマコと日	7	10	7	8	3	1	4	4	44	21.1
第9師団と日	3	5	3	3	0	2	2	2	20	9.6
731部隊と	22	19	12	19	1	4	8	8	93	44.5
強制連行と石	2	4	3	4	1	1	4	0	19	9.1

問3 この講義のためにどれくらい自分で勉強しましたか。それは予習・復習・小レポート作成・試験勉強を含めて1週間平均にして何時間くらいになりますか。

平均学習時間 (1を3時間、2・3・4を2.5・1.5・0.5時間、5を0時間として計算)

=1.4時間

学部ごとの平均学習時間 文 1.3時間 法 1.5時間 経済1.4時間 教育1.4時間
理・薬1.1時間 医医1.3時間 医保1.4時間 工 1.5時間

問3の学部別集計（カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合）

学 部 別	文	法	経済	教育	理・薬	医医	医保	工	合 計
1.3時間以上	6(15.0)	6(12.8)	6(17.6)	5(12.5)	0	1(14.3)	2(15.4)	3(20.0)	29(13.9)
2.3-2時間	1(2.5)	6(12.8)	2(5.9)	4(10.0)	1(7.7)	1(14.3)	2(15.4)	2(13.3)	19(9.1)
3.2-1時間	15(37.5)	20(42.5)	13(38.2)	14(35.0)	6(46.2)	1(14.3)	4(30.8)	3(20.0)	76(36.4)
4.1時間未満	17(42.5)	14(29.8)	7(20.6)	16(40.0)	5(38.5)	4(57.1)	3(23.1)	7(46.7)	73(34.9)
5.全くなし	1(2.5)	1(2.1)	6(17.6)	0	1(7.7)	0	2(15.4)	0	11(5.3)
無 回 答	0	0	0	1(2.5)	0	0	0	0	1(0.5)

問4 次の点についてあなたの印象・評価を、選択肢にまるをつけて示してください。

*各設問の「指数」は、（番号×番号の人数の総和）÷その設問の回答者総人数、である。平均は3.00で、それより小さければプラス評価、小さければマイナス評価。

ア) この授業は面白くて退屈しなかったですか？

・指数1.83 文1.75 法1.94 経済1.76 教育1.93 理・薬1.85 医医1.43 医保1.69 工2.00

ア)の学部別集計（カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合）

学 部 別	文	法	経済	教育	理・薬	医医	医保	工	合 計
1. はい	18(45.0)	19(40.4)	18(52.9)	14(35.0)	6(46.2)	4(57.1)	7(53.8)	3(20.0)	89(42.6)
2. まあまあ	16(40.0)	15(31.9)	10(29.4)	20(50.0)	5(38.5)	3(42.9)	4(30.8)	9(60.0)	82(39.2)
3. 普通	4(10.0)	11(23.4)	3(8.8)	3(7.5)	0	0	1(7.7)	3(20.0)	25(12.0)
4. そうでもない	2(5.0)	1(2.1)	2(5.9)	1(2.5)	2(15.4)	0	1(7.7)	0	9(4.3)
5. いいえ	0	1(2.1)	1(2.9)	2(5.0)	0	0	0	0	4(1.9)
無 回 答	0	0	0	0	0	0	0	0	0

イ) 授業内容はわかりましたか？

・指数1.83 文1.60 法1.77 経済1.94 教育2.05 理・薬2.31 医医1.57 医保1.62 工1.73

イ)の学部別集計（カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合）

学 部 別	文	法	経済	教育	理・薬	医医	医保	工	合 計
1. はい	23(57.5)	22(46.8)	14(41.2)	12(30.0)	3(23.1)	4(57.1)	6(46.2)	7(46.7)	91(43.5)
2. まあまあ	11(27.5)	15(31.9)	12(35.3)	15(37.5)	5(38.5)	2(28.6)	6(46.2)	5(33.3)	71(34.0)
3. 普通	5(12.5)	9(19.1)	5(14.7)	12(30.0)	3(32.1)	1(14.3)	1(7.7)	3(20.0)	39(18.7)
4. そうでもない	1(2.5)	1(2.1)	2(5.9)	1(2.5)	2(15.4)	0	0	0	7(3.3)
5. いいえ	0	0	1(2.9)	0	0	0	0	0	1(0.5)
無 回 答	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ) 授業は自分なりに考えるきっかけになりましたか？

・指数1.67 文1.65 法1.62 経済1.74 教育1.78 理・薬1.54 医医2.00 医保1.31 工1.67

ウ) の学部別集計 (カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学部別	文	法	経済	教育	理・薬	医医	医保	工	合計
1. はい	21(52.5)	27(57.4)	20(58.8)	21(52.5)	7(53.8)	3(42.9)	10(76.9)	8(53.3)	117(56.0)
2. まあまあ	13(32.5)	13(27.7)	7(20.6)	10(25.0)	5(38.5)	2(28.6)	2(15.4)	4(26.7)	56(26.8)
3. 普通	5(12.5)	5(10.6)	4(11.8)	6(15.0)	1(7.7)	1(14.3)	1(7.7)	3(20.0)	26(12.4)
4. そうでもない	1(2.5)	2(4.3)	2(5.9)	3(7.5)	0	1(14.3)	0	0	9(4.3)
5. いいえ	0	0	1(2.9)	0	0	0	0	0	1(0.5)
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0

エ) 授業の進め方はよかったですか？

・指数1.62 文1.62 法1.50 経済1.69 教育1.76 理・薬1.54 医医1.33 医保1.50 工1.79

エ) の学部別集計 (カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学部別	文	法	経済	教育	理・薬	医医	医保	工	合計
1. はい	18(45.0)	24(51.1)	18(52.9)	18(45.0)	9(69.2)	5(71.4)	5(38.5)	7(46.7)	104(49.8)
2. まあまあ	12(30.0)	18(38.3)	6(17.6)	13(32.5)	1(7.7)	0	5(38.5)	4(26.7)	59(28.2)
3. 普通	5(12.5)	2(4.3)	1(2.9)	5(12.5)	3(23.1)	1(14.3)	0	2(13.3)	19(9.1)
4. そうでもない	0	0	4(11.8)	2(5.0)	0	0	0	1(6.7)	7(3.3)
5. いいえ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	5(12.5)	3(6.4)	5(14.7)	2(5.0)	0	1(14.3)	3(23.1)	1(6.7)	20(9.6)

オ) レジューメはわかりやすかったですか？

・指数1.73 文1.97 法1.70 経済1.62 教育1.66 理・薬2.00 医医1.00 医保1.20 工2.07

オ) の学部別集計 (カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学部別	文	法	経済	教育	理・薬	医医	医保	工	合計
1. はい	13(32.5)	21(44.7)	16(47.1)	25(62.5)	5(38.5)	6(85.7)	8(61.5)	6(40.0)	100(47.8)
2. まあまあ	12(30.0)	17(36.2)	10(29.4)	4(10.0)	3(23.1)	0	2(15.4)	3(20.0)	51(24.4)
3. 普通	8(20.0)	4(8.5)	1(2.9)	7(17.5)	5(38.5)	0	0	3(20.0)	28(13.4)
4. そうでもない	2(5.0)	2(4.3)	2(5.9)	1(2.5)	0	0	0	2(13.3)	9(4.3)
5. いいえ	0	0	0	1(2.5)	0	0	0	0	1(0.5)
無回答	5(12.5)	3(6.4)	5(14.7)	2(5.0)	0	1(14.3)	3(23.1)	1(6.7)	20(9.6)

カ) 教官の声はよく聞こえましたか？

・指数 1.21 文1.23 法1.11 経済1.31 教育1.26 理・薬1.08 医医1.50 医保1.10 工1.21

カ) の学部別集計 (カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学 部 別	文	法	経済	教育	理・薬	医医	医保	工	合 計
1. はい	30(75.0)	39(83.0)	23(67.6)	33(82.5)	12(92.3)	4(57.1)	9(69.2)	12(80.0)	162(77.5)
2. まあまあ	2(5.0)	5(10.6)	4(11.8)	1(2.5)	1(7.7)	1(14.3)	1(7.7)	1(6.7)	16(7.7)
3. 普通	3(7.5)	0	1(2.9)	3(7.5)	0	1(14.3)	0	1(6.7)	9(4.3)
4. そうともいえない	0	0	1(2.9)	1(2.5)	0	0	0	0	2(1.0)
5. いいえ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無 回 答	5(12.5)	3(6.4)	5(14.7)	2(5.0)	0	1(14.3)	3(23.1)	1(6.7)	20(9.6)

キ) 板書はよかったですか？

・指数 3.09 文2.89 法3.07 経済2.93 教育3.13 理・薬3.23 医医3.17 医保3.40 工3.50

キ) の学部別集計 (カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学 部 別	文	法	経済	教育	理・薬	医医	医保	工	合 計
1. はい	2(5.0)	3(6.4)	3(8.8)	2(5.0)	1(7.7)	0	0	1(6.7)	12(5.7)
2. まあまあ	9(22.5)	10(21.3)	7(20.6)	8(20.0)	1(7.7)	2(28.6)	1(7.7)	1(6.7)	39(18.7)
3. 普通	15(37.5)	14(29.8)	9(26.5)	14(35.0)	5(38.5)	2(28.6)	4(30.8)	6(40.0)	69(33.0)
4. そうともいえない	9(22.5)	15(31.9)	9(26.5)	11(27.5)	6(46.2)	1(14.3)	5(38.5)	2(13.3)	58(27.7)
5. いいえ	0	2(4.3)	1(2.9)	3(7.5)	0	1(14.3)	0	4(26.7)	11(5.2)
無 回 答	5(12.5)	3(6.4)	5(14.7)	2(5.0)	0	1(14.3)	3(23.1)	1(6.7)	20(9.6)

ク) あなたから見て、学生の授業態度はよかったですか？

・指数 2.77 文2.86 法3.07 経済2.90 教育2.45 理・薬3.08 医医3.17 医保3.50 工3.36

ク) の学部別集計 (カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学 部 別	文	法	経済	教育	理・薬	医医	医保	工	合 計
1. はい	3(7.5)	1(7.9)	3(8.8)	7(17.5)	0	0	0	0	14(6.7)
2. まあまあ	7(22.5)	11(23.4)	8(23.5)	13(32.5)	3(23.1)	0	0	1(6.7)	43(20.6)
3. 普通	19(47.5)	17(36.2)	9(26.5)	12(30.0)	7(53.8)	5(71.4)	5(38.5)	7(46.7)	81(38.8)
4. そうともいえない	4(10.0)	14(29.8)	7(20.6)	6(15.0)	2(15.4)	1(14.3)	5(38.5)	6(40.0)	45(21.7)
5. いいえ	2(5.0)	1(2.1)	2(5.9)	0	1(7.7)	0	0	0	6(2.9)
無 回 答	5(12.5)	3(6.4)	5(14.7)	2(5.0)	0	1(14.3)	3(23.1)	1(6.7)	20(9.6)

ケ) この授業を総合的に評価するとどうなりますか？

・指数1. 6 7 文1.63 法1.61 経済1.86 教育1.74 理・薬1.54 医医1.33 医保1.50 工1.86

ケ) の学部別集計 (カッコ内は学部回答者数及び回答者総数に対する割合)

学 部 別	文	法	経済	教育	理・薬	医医	医保	工	合 計
1. たいへんよい	17(42.5)	20(42.6)	11(32.4)	17(42.5)	6(46.2)	4(57.1)	5(38.5)	3(20.0)	83(39.7)
2. まあまあ	14(35.0)	21(44.7)	13(47.1)	15(37.5)	7(53.8)	2(28.6)	5(38.5)	10(66.7)	87(41.6)
3. 普通	4(10.0)	3(6.4)	4(11.8)	5(12.5)	0	0	0	1(6.7)	17(8.1)
4. さほどよくない	0	0	0	1(2.5)	0	0	0	0	1(0.5)
5. 悪い	0	0	1(2.9)	0	0	0	0	0	1(0.5)
無 回 答	5(12.5)	3(6.4)	5(14.7)	2(5.0)	0	1(14.3)	3(23.1)	1(6.7)	20(9.6)

問5 以上以外に授業で何か気づいたことがあったら書いてください。

省略